

ここが聞きたい

# ずばり村政を問う!

一般質問は、会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で構成し、掲載しています。詳細は、会議録の閲覧ができます。



一般質問

ここが聞きたい ずばり村政を問う!

## 今村 竜喜議員

### 行政区再編の考えは

今村議員

村内37行政区の単純平均数字は1区あたり約280人、世帯数は約120戸となる。昨年度から高齢化率は40%を超えている。少子化対策や移住定住事業の推進を図っているものの、今年度の出生数は昨年度を下回りそうであり、地域は暮らし・自然環境の維持が厳しくなると思われる。

集落戸数が減少しなくても今後平均年齢は上がってくる。合併時に消防組織の再編を実施した、これを参考にできないか。現段階でも十分活動されているが、あと5年・10年後には地域をけん引する担い手の存在。消防という地域活動の経験が活かされると思う。

### 検討していくメリットある

村長

50世帯を切る区が9区存在、人材の不足により役員のなり手が少ない等、多くの負担や困難が予想される。行政区が再編されると区長業務の効率化にもつながると考えられる。複数の集落と公民館を有する行政区も存在するので、事例に倣いながら行政改革の一環として再編を検討していくメリットはある。

伝統・慣習・行事等が異なっている場合や財産や入会権<sup>いりあい</sup>等を有している場合があるため、慎重に行う

必要があり、要望がなければできない事である。

今村議員

災害公営住宅整備4団地94戸完成、新たな生活拠点も誕生した。区への編入、地域警戒や見守り、有事の対応など防災の点から総務課の考えは。

総務課長

消防組織は、平素は生業を持っている住民が、有事のとき団員となり活動を行う機関。その地域に住んでいるからこそ混乱した災害の場において、その貴重な情報が生かされる。一番の活動は有事の際、村民の生命と財産を守ることにある。今後も分団毎の協力体制をとりながら、地域防災・消防力の充実を図っていく。

今村議員

地域の催事・まつりなど文化の継承を行う上でも再編は考えておくべきである。村内の地域で参考になる部分は取入れ、公<sup>やく</sup>役に参加できなくなる人が増える中、協議や改善をしながら集落維持・生活基盤確保のため検討は必要。



<sup>いりあい</sup>  
※入会権とは…

一定の地域の住民が特定の森林、原野、漁場を共同で利用する権利のこと。